

<お知らせ情報（C情報）に至らないごく軽度な機器故障>（月報）

（機器の故障に起因する不適合事項（軽微なもの））

平成 27 年 11 月分（11 月 30 日現在）

No.	発生日	設 備	概 要	処置状況	発生場所
1	H27. 11. 9	換気空調冷却水設備 （建屋内の空調設備に冷水（非放射性）を供給する設備）	換気空調冷却水設備の冷凍機において、点検を実施したところ、制御盤ディスプレイの潤滑油圧力が正しく表示されていないことを確認した。 このため、当該設備を点検したところ、制御盤内のプログラムに不具合が確認されたため、プログラムの調整を行い復旧した。 原因調査の結果、当該冷凍機点検時の弁の操作手順が明確ではなかったため、弁の操作手順を誤りプログラムに不具合が生じたものと推定した。 このため、点検時の弁の正しい操作手順を工事仕様書に明記した。	処置済み	タービン 建 屋
2	H27. 11. 11	試料採取系設備 （系統水の化学成分等の採取・測定を行う設備）	試料採取系設備において、原子炉水を採取・測定している機器の点検用の水抜き配管に錆が発生していることを確認した。 このため、当該配管の取替を行った。 原因調査の結果、当該機器への試料水の通水が停止した状態でも、測定に使用している腐食性溶液が継続的に流出していたため、配管に錆が発生した。このため、新たに止め弁を設置し、当該設備を使用しない場合、継続的に当該溶液を流出させないことをマニュアルに反映した。	処置済み	原 子 炉 建 屋

3	H27. 11. 16	給排水処理設備 (発電所にて使用する純水等の製造および、非放射性排水を処理する設備)	給排水処理設備において、非放射性排水を一時的に貯水するための排水槽に薬液を注入するポンプの入口弁が閉まっている状態でポンプを運転していたことから、当該ポンプ保護のため停止した。 <u>原因調査の結果、給排水処理設備純水装置の点検のために必要な安全処置を実施しなかったことにより、事象が発生ことから、点検前の安全処置を手順書へ反映し、関係者へ周知した。</u>	<u>処置済み</u>	屋 外
4	H27. 11. 28	プロセス計算機 (プラントの運転状態の監視・管理の補助設備)	プロセス計算機のうち、プラント過渡変化時の解析・記録を行うためのデータを処理する機器において、通信の異常を示す警報が発生した。 原因調査の結果、通信機能を司っている伝送装置の偶発的な故障であると確認したことから、取替を実施し復旧した。	処置済み	中 央 制 御 室
5	H27. 11. 29	取水口除塵装置 (復水器や海水系熱交換器等に供給する冷却用の海水中に含まれるごみを取り除く設備)	6箇所ある取水口に2台設置されている除塵装置のうち1台において、自動運転の設定と異なった運転パターンで運転していることを確認したため、手動停止した。 <u>原因調査の結果、除塵装置2台のうち1台を、点検のためスイッチにより使用できない状態としていたが、制御プログラム上では双方の状態を正しく認識できていないことが判明したことから、プログラムの修正を行い、復旧した。</u> <u>また、運転時にスイッチの状態とプログラムの認識の一致を確認する旨を手順書へ反映した。</u>	<u>処置済み</u>	屋 外

・「不適合」とは、要求事項を満たしていない状態をいいます。

※処置状況欄記載の「対応中」、「補修済み・取替済み・復旧済み」、「処置済み」については、以下の状況をいいます。

- ・対応中 : 要求事項を満足する状態に復旧中です。
- ・補修済み・取替済み・復旧済み: 要求事項を満足する状態に復旧済みです。  
今後、原因調査、対策等を講じます。
- ・処置済み: 要求事項を満足する状態に復旧し、原因調査、対策等を実施済みです。  
なお、今後、水平展開について検討・対応します。

・今月の更新箇所は下線で示しています。